

# 大障教ニュース

No.15  
 2021年11月9日  
 大阪府立障害児  
 学校教職員組合  
 大阪市天王寺区  
 東高津町7-11  
 府教育会館704号  
 TEL 06-6765-8904  
 FAX 06-6765-8905

## 教育のつどい大阪2021全体会

9月25日、教育のつどい大阪2021全体会がオンラインで開催され、230人が参加しました。記念講演では、元大阪市立盲学校教諭で大障教の先輩の藤野高明さんが「文字の獲得は光の獲得でした。生きる」と題して講演。1945年の敗戦の年に不発弾により弟を奪われ、藤野さん自身も両目の視力と両手を失いました。様々な困難や障壁と向き合いながら教師として人生を切り拓いてきた藤野さん。講演では、平和の尊さと学ぶことの大切さを熱く語りました。

## 点字がもたらした光 盲学校から大学 教師に

藤野さんは不発弾の爆発によるけがが治っても学校に行けず、13年もの長きに渡り不就学のまま放置されます。重い障害のため教育の対象外というのがその理由でした。「子ども時代は成長の時。その時に学校を奪われたことには、今も怒りがこみ上げてき



講演で力強く語る藤野さん

ます」と藤野さんは話します。藤野さんの人生を変えたのは点字でした。「私は点字を唇で読むことを知り、夢中で覚えました。点字が読めるようになったことで、光を得ました」と藤野さん。その後、20歳で大阪市立盲学校(現大阪北視覚支援学校)に入學し、たくさんの仲間や先生と出会い、旺盛に学びました。「郷里の福岡は門前払いだったけれど、大阪の先生方が親身になって受け入れてくれました。その感謝を忘れません」と語ります。数々の困難を乗り越え、藤野さんは1973年世界史の教師に。以後30年間の教職生活を組合の一員として駆け抜けました。

## 歴史の傍観者でなく主体者に

藤野さんはフランスのルイ・アラゴンの詩集『フランスの起床ラッパ』の中の言葉「教えるとは希望を語る」と、学ぶとは胸に誠をきかむ」という一節を紹介しました。藤野さんが座右の銘にしているこの言葉には、希望をつかんだ盲学校時代の経験が重なります。盲学校の教師として藤野さんは、生徒に3つのことを語ってきました。1つ目は「歴史は進歩する」ということ。歴史は曲がりくねった。2つ目は「歴史は進歩する」ということ。歴史は曲がりくねった。3つ目は「歴史は進歩する」ということ。歴史は曲がりくねった。

## 命がけて勝ち取った憲法を無傷で残したい

「日本は1875年から1945年までずっと戦争に明け暮れてきました」と藤野さん。「大人たち、教師たちが子どもたちに日本の戦争を『正しい戦争』と教えてきた。その事実を忘れてはならない」と強調します。さらに藤野さんは、戦争は人を平等に見ないため、必然的に差別を生み出すと述べ、戦争に協力で

## 教育のつどい大阪2021 教科別・問題別分科会

2021年11月23日 (火・祝)  
 午前の部 9:30~ 午後の部 13:30~

☆障害児教育分科会は午後の部

会場 エルおおさか本館

(地下鉄・京阪「天満橋」下車徒歩5分)

教科別・問題別分科会の  
 一般参加はwebで受付中  
 〆切 11月17日 (水)  
 大障教から複数名報告され  
 ます。  
 開催要綱もご覧ください!



大障教ホームページアドレス <http://fc06631220171211.web2.blks.jp/>

Eメールアドレス : [fushoukyou\\_1@ntb.biglobe.ne.jp](mailto:fushoukyou_1@ntb.biglobe.ne.jp)

## 書記局のつどい

11月3日、日本国憲法は公布(1946年)から75年を迎えました。

総選挙の結果、自民、公明、日本維新の会などの改憲勢力が衆院の3分の2を占め、岸田首相は「憲法改正にむけて、積極的に取り組んでいく」と表明。即座に呼応して、日本維新の会の松井代表は、来年の参院選時に改憲の国民投票を実施するべきだと発言し、改憲姿勢をあらわしています。

戦後政治史で初めて、総選挙で野党が共闘し、214の小選挙区で統一候補を立てたたかわれた選挙戦は、62の選挙区で激戦を制し野党統一候補が勝利しました。そのうち41選挙区の敗れた自公候補の惜敗率(小選挙区における当選者の得票数で、その選挙区の他の候補の得票数を割ったもので、接戦の度合いを表す指標)は80%以上の大接戦でした。共闘し一本化したからこの勝利であり、さらに大きく市民と野党の共闘を進展させる意義を今回の選挙は明らかにしました。

結果として、自民党は261議席を得ましたが、野党統一候補が勝利には至らなかったものの惜敗率90%以上の大接戦となった選挙区は33にのぼります。「くら」「れは」は禁物ですが、これらの選挙区で野党統一候補がすべて競り勝つていけば、選挙の結果は様変わりし、自民党は確実に単独過半数割れしていたこととなります。

メディアが「薄水の1強」(読売)2日付)「自民、目立つ薄水の勝利」(日経)と分析し報じるように、市民と野党の共闘が、あと一歩のところまで自民党を追い詰めた形です。改憲を求める世論は一貫して高まっています。むしろ、コロナ禍の中で日本国憲法を軸に命とくらしを守る政治への「チェンジ」こそ求められています。

# 岸田政権の下での改憲は許さない！

## 野党と市民の共闘のさらなる深化・発展を

### 2021年総選挙の結果について (談話)

大阪府立障害児学校教職員組合 書記長 西面友史

#### 岸田政権による改憲策動を許さない運動を！

10月31日投票でおこなわれた衆議院選挙は、コロナ禍のもと、安倍・菅政治を転換し、新しい政治を実現できるかどうか大きな争点となりました。選挙結果は、自民党が解散前より議席を減らしたものの過半数を確保し、公明党とともに政権を維持することとなりました。また、日本維新の会が第3党となり、改憲に前向きな勢力が衆議院において3分の2以上を占めることになりました。

#### 国民のいのちとくらしより経済優先の政権

新型コロナウイルス感染症への対応を誤り、現職の首相が2人続けて政権を放り出した。この事態は、この間、自公政権によりすすめられてきた新自由主義的な政策が、いかに感染症に対して脆弱な社会をつくりだしてきたかという事を明らかにしました。

多くの国民が、政治のもっとも根本的な役割は国民のいのちとくらしをまもることであるとあらためて認識するなか、後継の岸田氏も選挙戦を通じて新自由主義的経済政策からの転換を掲げざるを得なくなるなどの状況がうまれました。

#### 市民と野党の共闘が与党を追い詰める

今回の衆議院選挙に向けて、市民と野党の共闘は前進し、立憲民主党、日本共産党、社会民主党、れいわ新選組の4野党が具体的な共通政策を結び、立憲民主党と日本共産党が政権協力合意をしたことにより、多くの小選挙区で与党候補と野党統一候補の「1対1」の構図をつくりだしました。

これらの小選挙区では接戦が展開され、62の小選挙区で統一候補が勝利するなど、野党共闘は重要な成果をあげました。しかし、自公政権への批判票は日本維新の会にも向かい、低い投票率と相まって、とくに比例代表で、共闘した野党は議席を伸ばしきれませんでした。

## 府教委が来年度の新たな給食調理業務民間委託化方針を発表

府教委は、大障教に対し、2022年度7月末の中央聴覚支援学校給食調理業務の業者更新に伴い、8月より寄宿舎舎食調理業務を民間委託化する方針について説明をおこないました。10月中旬に当該校において教職員に対する説明がなされました。

大障教は、舎食調理業務の民間委託化に関わる問題点（重複障害舎生などの子どもの実態や部活動の朝練対応などの生活にあわせた家庭的で柔軟な対応が民間委託化によって低下することがあってはならない、配置されている29hの栄養士（非常勤）や給食栄養教諭への負担増大の問題、直営調理員の雇用の問題など）についてふれ、子どもの命と生活に直結する寄宿舎舎食は大阪府が責任を負うべきであること、安全・安心な舎食を提供することを主張しました。引き続き、舎食調理業務民間委託化方針の撤回・廃止を求めるとりくみをすすめます。

「生野聴覚支援学校」に続いて  
「中央聴覚支援学校寄宿舎舎食」を追加  
安全・安心な舎食の実現のため 民間委託化方針の撤回・廃止を！

#### (2022年度寄宿舎舎食調理業務民間委託化方針の概要)

- 対象校：大阪府立中央聴覚支援学校
- 契約期間：  
2022年8月～  
2025年8月までの  
36か月（3年間）
- 業者委託スケジュール：  
現段階では未定



今回の衆議院選挙を通じて、新自由主義的な政治を転換し、コロナ対策の充実、ジェンダー平等の社会の実現、気候変動問題にとりくむことなど、政治が向きあうべき課題が山積していることが明らかになり、共通通政の実現をめざすとりくみが引き続き重要です。市民が立憲野党を後押しして、市民と野党の共闘をさらに深化・発展させることが求められます。

自公両党や日本の維新の会が求める運動と、教育予算を拡充し、支援学校の抜本的増設による「過大・過密」解消などゆきとどいた教育を実現する運動に奮闘する決意です。